

工業団地造成

[1966-1975]

市制10周年を迎えた北茨城市は、大きな転換期を迎えていました。

押し寄せるエネルギー革命の波は避けられず、かつての基幹産業だった炭鉱は相次いで閉山に追い込まれ、とうとう昭和46年にはすべての炭鉱が閉山となります。そして、これに伴う大幅な人口減少に見舞われます。

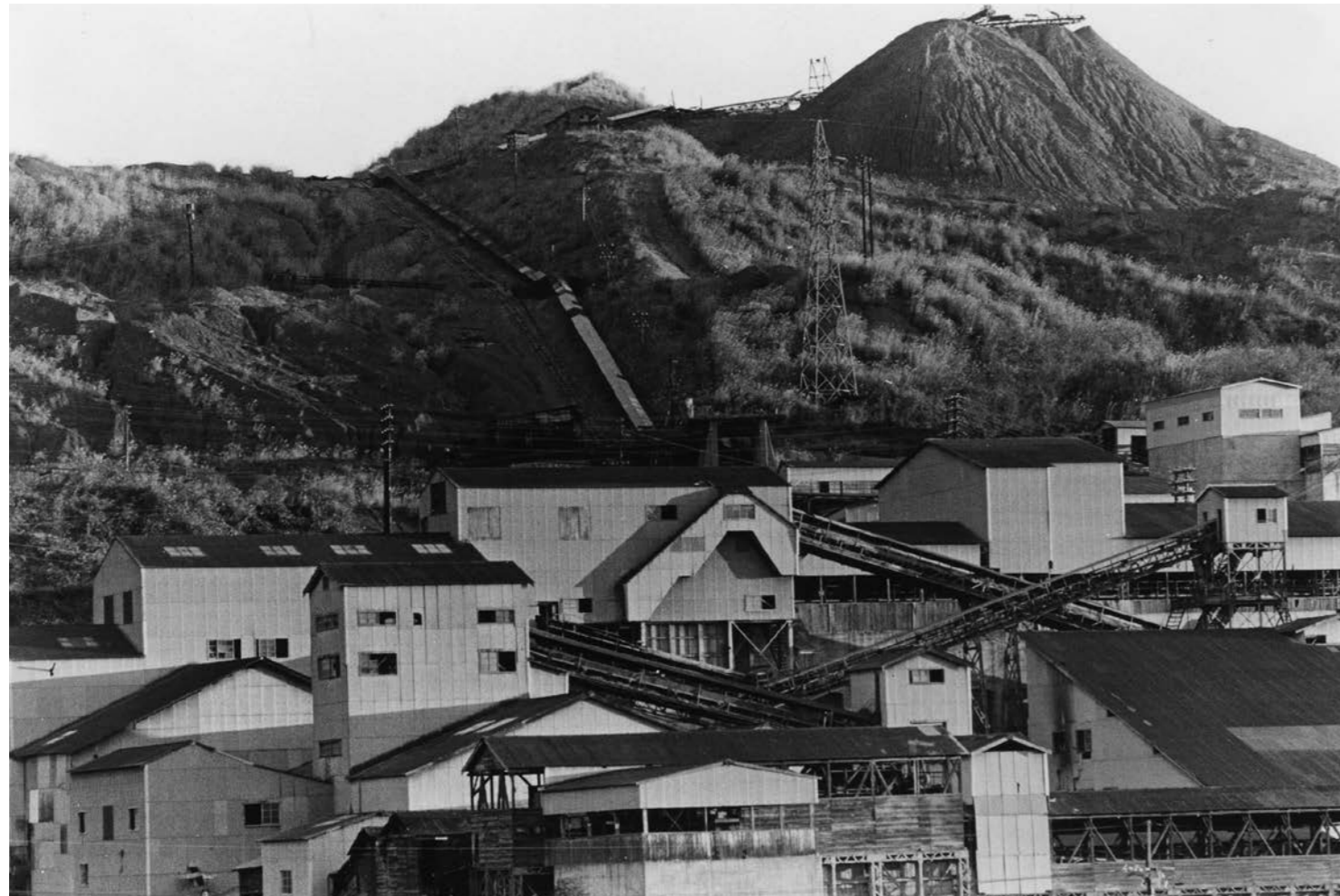
市では、炭鉱が衰退していく状況を見据え、昭和40年当初から磯原工業団地の造成に着手し、企業誘致により雇用の場を確保することに努め、併せて住宅団地の造成も進めるなど、職住一体の環境整備による工業都市への転換を進めていきました。

一方、上水道の整備や北茨城市消防署の発足など社会基盤の整備をはじめ、市立病院の建て替え、乳児や老人、障がい者に係る医療費の無料化や老人憩いの家、青少年の家の設立など医療や福祉などの面でも充実を図りました。

これらの対策が功を奏し、昭和48年には約43,000人にまで落ち込んだ人口の減少傾向にも歯止めが掛かり、翌年からは再び増加に転じていきます。

[昭和]

41年 → 50年



常磐炭鉱中郷鉱とズリ山 (昭和46年)



閉山した関本炭鉱 (昭和44年)



閉山後の常磐炭鉱中郷鉱 (昭和46年)



当時の関本保育所 (昭和41年)



ズリ山から見た炭鉱風景



市役所前で行われた大日本炭鉱離職者への退職金支給 (昭和42年)

[昭和] 41年 → 50年 生まれ変わる北茨城 1

工業団地造成 [1966-1975]



県内初の多目的ダムとして完成した水沼ダム（昭和41年）



造成が進む磯原工業団地（昭和42年）



磯原住宅団地の分譲が始まる（昭和49年）



北茨城市消防庁舎が完成（昭和45年）



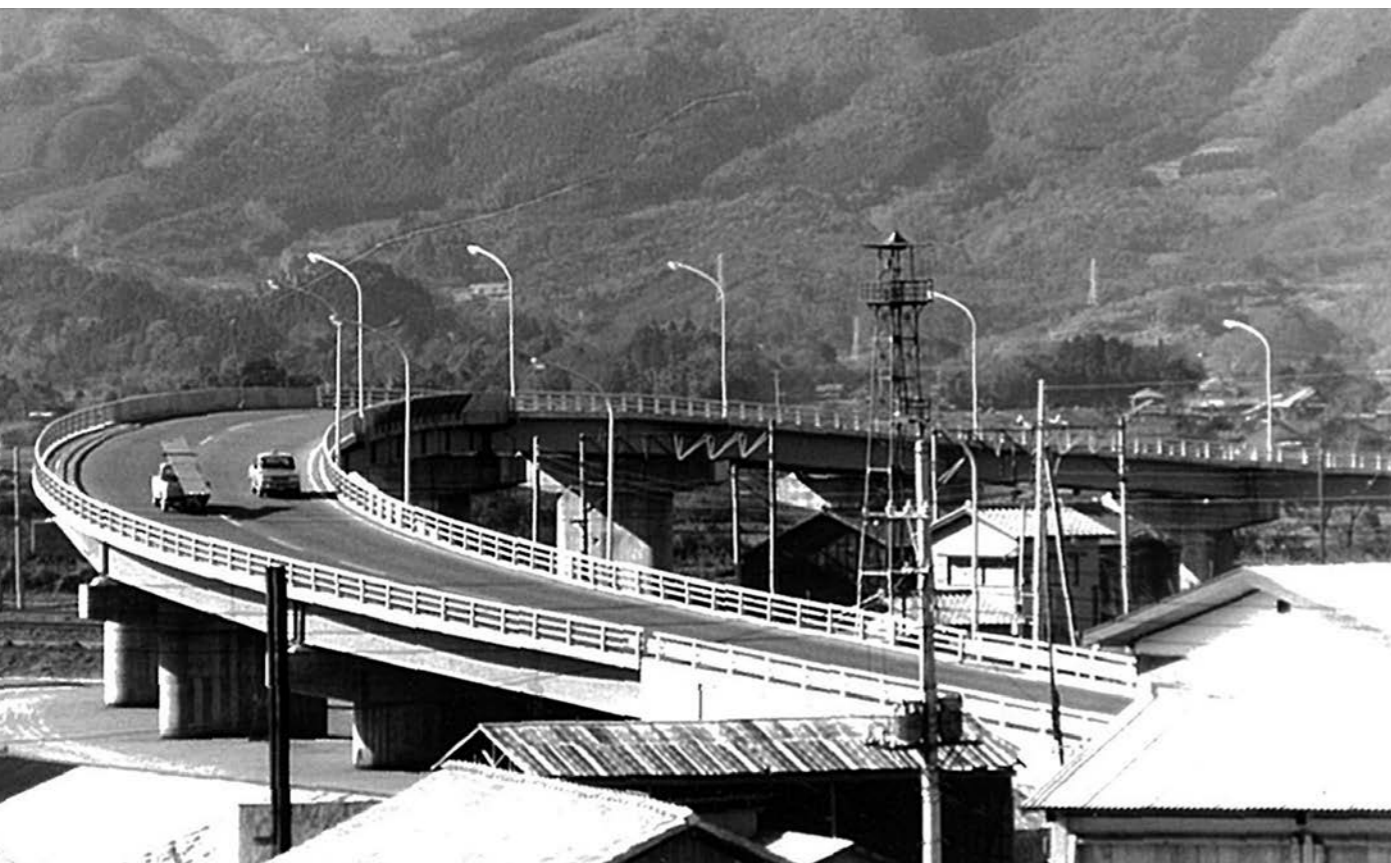
昭和50年当時のゴミ焼却場



北茨城電報電話局が開局。ダイヤル式電話になる（昭和43年）



建設が進む北茨城市立病院（昭和46年）



磯原立体橋が建設された (昭和44年)



常北中学校下に立体歩道橋が設置される (昭和42年)



茜平青少年の家がオープン (昭和47年)



立体橋と跨線橋が完成し、閉鎖されたことになった磯原踏切 (昭和43年頃)



海水浴シーズンでにぎわう国道6号で、安全を見守る市交通指導員 (昭和45年)



県社協によるお年寄りへのふとん乾燥サービス (昭和48年)



春の火災予防運動で「火の用心」を呼びかける (昭和43年)



北茨城市民歌が完成し、市民にお披露目された（昭和43年）



市民歌レコード盤ジャケット写真の撮影風景（昭和43年）



市民歌に合わせて踊る女性たち（昭和43年）



市制15周年記念式典が磯原中学校で開かれた（昭和46年）



初代市長の片寄富七氏（右）が名誉市民になる（昭和43年）



市役所窓口の様子（昭和44年頃）



柴田章市長の初登庁（昭和50年）



関本第一小学校の授業風景（右）と、廊下で卓球を楽しむ児童（左）（昭和40年代）



小川小学校でのたった1人の入学式（昭和50年）



交通少年団が結成され、市内をパレード（昭和49年）



夏休みのラジオ体操をする神ノ山炭鉱住宅の子どもたち（昭和43年）



磯原工業団地の企業を見学する卒業予定の中学生（昭和43年）



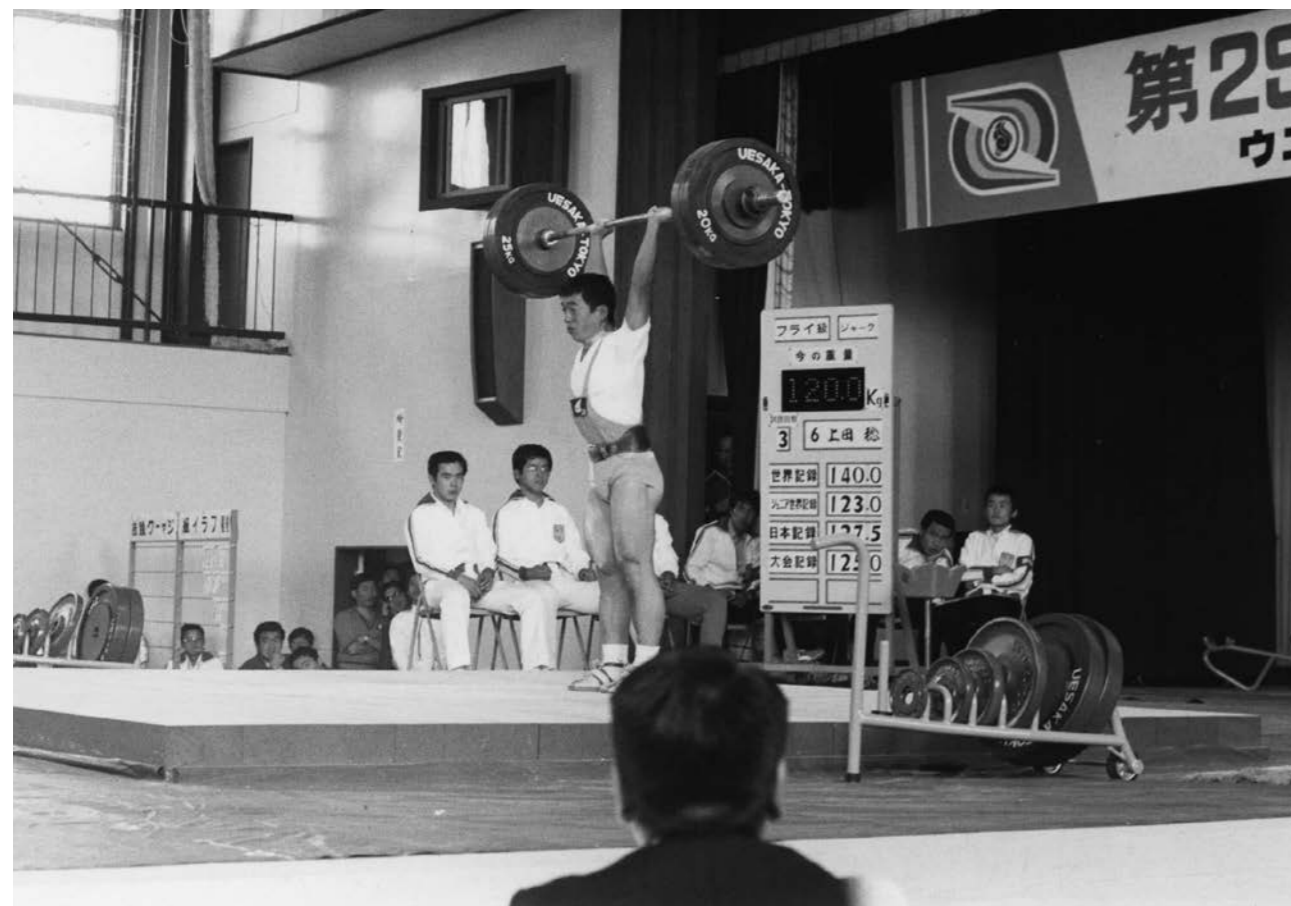
茨城国体で、大津町を通過中の炬火リレー（昭和49年）



前年の千葉国体ウェイトリフティング会場の船橋市から国体旗を引き継ぐ（昭和49年）



第1回県消防職員駅伝競走大会が開かれる（昭和46年）



ウェイトリフティング競技の会場となった磯原中学校体育館（昭和49年）



多くの家族連れなどにぎわう磯原海水浴場（昭和46年）



磯原工業団地で行われた盆踊り（昭和45年）



NHK のど自慢が磯原高校を会場に開催された（昭和42年）

| | | |
|-------|-----|--|
| 昭和41年 | 2月 | 中郷、磯原、華川、関南、大津、関本の農協が合併 |
| | 4月 | 上水道給水開始 県立北茨城高校が開校 |
| | 6月 | 水沼ダム完成 |
| | 11月 | 市制施行10周年記念式典、記念事業が挙行される |
| 昭和42年 | 3月 | 磯原工業団地第1期造成工事が完了。第2期造成工事に着手 |
| | 10月 | 大日本炭鉱閉山 |
| 昭和43年 | 11月 | 磯原工業団地第3期造成工事着手 |
| | 3月 | 北茨城市民歌の発表会を開催 |
| | 4月 | 北茨城市消防本部発足 花園小中学校、才丸小中学校を統合した水沼小中学校が開校 市長選挙執行、豊田實氏再選 |
| | 5月 | 自動電話（ダイヤル式電話）が開通 |
| 昭和44年 | 2月 | NHK北茨城市テレビ放送局高帽山に開局 |
| | 4月 | 磯原、中郷の郵便局が統合され北茨城郵便局が発足 |
| | 8月 | 関本炭鉱閉山 |
| | 10月 | 重内炭鉱閉山 |
| 昭和45年 | 3月 | 消防庁舎完成 |
| | 4月 | 市立木皿保育所開所 |
| 昭和46年 | 8月 | 常磐炭鉱中郷鉱閉山 |
| | 11月 | 常磐炭鉱神ノ山鉱閉山 市制施行15周年記念式典挙行 |
| | 3月 | 磯原B工業団地造成工事着手 |
| 昭和47年 | 4月 | 晴々荘、偕山荘が老人憩いの家として開所 市長選挙執行、豊田實氏が三選 |
| | 5月 | 茜平青少年の家開所 |
| | 8月 | 磯原住宅団地起工式 |
| | 6月 | 磯原駅前通りで月1回の歩行者天国が始まる |
| 昭和48年 | 10月 | 市公害防止条例制定 |
| | 5月 | 常陸大津の御船祭が13年ぶりに開催される |
| 昭和49年 | 6月 | 中郷地区簡易水道給水開始 |
| | 10月 | 第29回国民体育大会茨城大会。市内でウェイトリフティング競技が開催される |
| | 12月 | 磯原B工業団地第2期造成工事着手 |
| | 4月 | 北茨城市総合計画基本構想策定 |
| 昭和50年 | 5月 | 市長豊田實氏の逝去に伴い市葬執行 |
| | 6月 | 市長選挙執行、柴田章氏就任 |